

## 特別支援学校小学部点字教科書編集資料

### 小学部（ 道徳 ）

#### 1 編集の具体的方針

- (1) 原典となる教科書（以下、「原典教科書」とする。）は、各学年ともそれぞれ1冊である。点字の場合、大部による児童の負担を軽減することに配慮して、各学年とも2分冊とした。各学年の分冊における原典教科書のページは、以下のとおりである。なお第1学年第1巻（1-1）は、点字学習の開始時期であることへの配慮と製本上の都合により、片面印刷としている。

|      |     |         |     |           |
|------|-----|---------|-----|-----------|
| 第1学年 | 1-1 | 37ページまで | 1-2 | 38～118ページ |
| 第2学年 | 2-1 | 69ページまで | 2-2 | 70～130ページ |
| 第3学年 | 3-1 | 85ページまで | 3-2 | 86～136ページ |
| 第4学年 | 4-1 | 75ページまで | 4-2 | 76～144ページ |
| 第5学年 | 5-1 | 79ページまで | 5-2 | 80～152ページ |
| 第6学年 | 6-1 | 81ページまで | 6-2 | 82～152ページ |

原典教科書のページは、「⠄」で挟んでページ行の左側に掲載する。児童への周知のために、目次の最後に「普通の文字の教科書のページは、ページ行に⠄⠄⠄⠄のように書いてあります。」と記載した。

また、道徳の教科書の性格上、単元1から順に学習するだけでなく、児童や学級の実態に合わせて、学習する単元の順序が前後することも考えられる。そのための検索性を配慮して、各学年の第1巻には、全巻目次を掲載してある。

- (2) 題材の修正については、児童の実際の学習活動として成立できなかつたり、児童の生活経験では理解が困難であったりする場合に限って行う。その上で、触読による学習の特性をふまえた修正を追加するが、先に述べられた編集の基本方針に則り、できるだけ原典教科書に沿った点字化をした。具体的には、次のような編集を行った。

- ① 普通の文字の表記を点字化するにあたっては、点字表記の特性を踏まえて、可能な範囲で対応措置を図った。特に、盲児童の学習経験と触読による学習の特性に配慮し、番号や記号をつけて全体の構成がわかりやすいように修正した。

例：第3学年 「ジュウ」という漢字は→「ジュウショ」の「ジュウ」

第5学年 アイジョウ→アイジョウ（城を愛する）

- ② 題材本文の中での登場人物の視覚を使った活動については修正しないが、児童自身の実際の学習活動における視覚を前提とした表現には修正を加えた。

例：第2学年 相手と目を合わせ→相手の方に顔を向けて

第4学年 私たちがよく目にしている→私たちのまわりにある

- ③ 題材本文に添えられた写真や絵などは、原則として削除した。ただし、題材の理解の助けとなるもの、児童の興味や関心を喚起するものに限り、絵の説明を添えたりキャプションのみを（写真の説明）としてつけたり、簡略化した点図にしたりした。

例：第5学年 新幹線ひかり号の点図

第5学年 （写真の説明）日本初の人工ふ化で生まれた「優優」

第6学年 二またソケット

地図も同様に、題材の理解の助けとなるもの、児童の興味や関心を喚起するものに限り簡略化して点図にした。

例：第4学年 伊能忠敬の地図

第5学年 ブータンの位置

ただし、小学部段階の盲児童にとって、写真や絵についての過度の説明や複雑な点図は心理的にも負担になる場合が多いと考えられる。したがって指導に当たっては、盲児童の生活経験で具体的に想起できにくいものは、実物や触覚教材などの教材、教師による具体的な説

明等で補って児童が容易に理解できるようにするとともに、児童にかかる負担についても常に配慮されたい。

- ④ 低学年の絵や写真を中心とした題材は、題材のねらいに沿った形で文章化した。  
例：第1学年 がっこうだいすき
  - ⑤ 学習活動の中で、表を書き出す課題では、児童自身が実際の学習でノートに筆記できる形式となるように配慮して修正した。  
例：第4学年 自分のあいさつを調べてみましょう  
第6学年 よりよく生きる
- (3) 点字表記及びレイアウト等は、『日本点字表記法 2001年版』（日本点字委員会編集・発行）に準じて行った。

## 2 編集の具体的内容

具体的な編集内容のうち、全学年を通して特記すべきものは以下のとおりである。

- ① 「注」は原則として、奇数ページの欄外に掲載した。
- ② 目次末にある「この本のマークの説明」は、「見出しの言葉の説明」とし、原典教科書での絵マークをそれぞれ次のように修正した。  
(自分) — 自分のこと  
(つながり) — 人とのつながりに関わること  
(集団) — 集団生活に関わること  
(命や自然) — 命や自然に関わること  
(スキル) — 体験を通して、人としての行いについて考えを深めます。  
また、赤・黄・青の色分けで表されているマークは削除し、そのマークの表す内容については、第1括弧で囲んで見出しの後に掲載した。
- ③ 全学年とも第2ページについては、全体の構成がわかりやすいように番号をつけ、書き込み用の空欄部分を削除した。
- ④ 「ジャンプ」の絵マークは削除するとともに実線枠で囲み、「学びの手引き」の内容と混同しないようにした。
- ⑤ 中点や色の付いた丸・四角等を付したのものについては、触読の特性を踏まえた上で全体の構成を理解しやすくするために、番号や記号、星印を付すなどの修正を行った。その際、それぞれの学年ごとの点字学習の進捗を鑑みながら、学年に応じた点字表記とした。
- ⑥ 手紙等や地色が違う挿入部分などは実線枠で囲み、題材の構成を理解しやすいように工夫した。児童の作品については点線枠で囲んだ。
- ⑦ 児童の顔のイラストに吹き出しがついたものは、発言部分であることがわかりやすいよう、名前を付して第1カギで囲んだ。
- ⑧ 編集資料における修正内容の表記は、原典教科書が分かち書きをしており参考資料も多い第1学年を、分かち書きと切れ続き、長音符号や仮名遣いなど、点字表記に近い形で表した。
- ⑨ 指導に当たっての配慮や工夫が必要な箇所、差し替えやレイアウト上の工夫を行った箇所については、本資料に「4 参考資料」として掲載した。

## 3 その他

題材には、盲児童にとって実際に体験することが難しい内容、障害や病気に関する内容がある。道徳科として大切にすべきこと、何を学ぶ題材かを常に確かめながら指導に当たることが大切である。さらに、盲児童それぞれの実態に合ったきめ細かな指導の工夫及び配慮が必要である。

特に、指導に配慮が必要な箇所は、以下のような箇所である。

- ・児童の実際の学習活動にはないもの（玉入れ、絵葉書、消しゴム、漢字の書き取り）
- ・視覚的な要素の強いもの（しぶい表情、しかみ像、プロ野球マスコット）
- ・障害や病気に関連したもの（神経芽細胞腫、障害者駐車場、足の不自由なおじいさん）

4 参考資料（指導に当たっての「留意事項」等を「\*」で示している。）

| 学年  | ページ   | 行 | 修正事項 | 修正内容  | 備考                |
|-----|-------|---|------|---|-------------------|
| 1-1 | 4-5   |   | 修正   | 「がっこー だいすき」<br>(絵を次のように文章化した。)<br>やすみ じかん<br>こーていで はしろー<br>ぼーるで あそぼー<br>せんせいと おはなし<br>かだんに みずやり<br>しいくがかりわ うさぎに えさやり<br>くるまいすの ともだちも いる<br>こーちょーしつにわ こーちょー せんせい<br>ほけんしつにわ ほけんの せんせい  | 編集の具体的方針(2)-④による。 |
|     | 6     |   | 修正   | 「たのしい ことが いっぱい」<br>(写真を次のように文章化した。)<br>にゅーがくしき<br>えんそく<br>プール<br>うんどーかい<br>ゆきあそび<br>はる なつ あき ふゆ<br>がっこーにわ たのしい ことが いっぱい<br>あります。  | 編集の具体的方針(2)-④による。 |
|     | 7     |   | 修正   | (絵を次のように文章化した。)<br>こくご<br>さんすー<br>せいかつ<br>おんがく<br>ずが こーさく<br>たいいく<br>どーとく<br>じりつ かつどー<br>がっこーにわ いろいろな じゅぎょーが<br>あります。<br>きゅーしょくも たのしみな じかんです。   | 編集の具体的方針(2)-④による。 |
|     | 8-9   |   | 修正   | 「あいさつの ことば」<br>(絵を次のように文章化した)<br>あさ おきて かぞくに<br>「おはよー ございます。」<br>がっこーに いく とき いえの ひとに<br>あさ こーもんで こーちょー せんせいに<br>おひるに きゅーしょくを たべる とき<br>ろーかの まがりかどで ともだちに ぶつかって<br>しまった とき<br>きょーしつで おとした ものを ともだちが ひ<br>ろって くれた とき<br>かえりに ともだちと わかれる とき<br>いえに かえって おじいちゃんに<br>よる ねる とき かぞくに | 編集の具体的方針(2)-④による。 |
|     | 10-11 |   | 修正   | 「きもちの よい せいかつ」<br>(絵を次のように文章化した。)<br>(あさ)<br>1. 6じに じぶんで おきます。<br>2. よーふくに きがえます。   | 編集の具体的方針(2)-④による。 |

|     |          |          |   |  |
|-----|----------|----------|---|--|
| 1-1 |          |          | <p>3. かぞく そろって あさごはん。<br/>(よる)</p> <p>4. あしたの じかんわりを<br/>そろえます。</p> <p>5. ねる まえに ほんや おもちゃを<br/>かたづけます。</p> <p>6. しっかり はみがき。</p> <p>7. 8じにわ あしたの きがえを よーい<br/>して おやすみなさい。</p>  |  |
|     | 12-13    | 削除<br>修正 | <p>「ものや おかねを たいせつに」<br/>(絵を削除し、次のように修正した。)</p> <p>ものや おかねを たいせつに しましょー。</p> <p>まなびの てびき</p> <p>1. あなたわ ものや おかねを たいせつに<br/>して いますか。</p> <p>2. どーして そー おもったのか わけも<br/>はなしあいましょー。</p>  | <p>編集の具体的方針(2)-④<br/>による。</p> <p>*本教材は、物やお金を<br/>大切にするとはどういう<br/>ことかを、児童自身が考<br/>え、気付くことがねらい<br/>である。自分自身の身の<br/>回りの物の扱いを通して<br/>具体的に確認しながら考<br/>えることができるよう指<br/>導することが望ましい。</p> |
|     | 14-16    | 修正<br>追加 | <p>「かぼちやの つる」<br/>(場面に番号を付し、場面の説明を加えた。つるを伸<br/>ばしたかぼちやの点図を挿入。)【資料1】</p>   | <p>編集の具体的方針(2)-①<br/>③による。</p>   |
|     | 18       | 修正<br>追加 | <p>「くまさんの おちやかい」<br/>(「けいじばんの はりがみ」を枠で囲み、紅茶カッ<br/>プとクッキーの点図を挿入。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>こんどの にちよーび、2じから<br/>ひろばで おちやかいを します。<br/>みんな きてね。 くま</p> <p>(紅茶カップとクッキーの点図)</p> </div> | <p>編集の具体的方針(2)-①、<br/>③による。</p> <p>*紅茶カップなど、身近<br/>にある物の点図に親しむ<br/>機会としたい。</p>   |
|     | 20<br>21 | 12<br>上段 | <p>「さるさんわ したを むいて しまいました。」<br/>「したを むいた さるさんわ」</p>  | <p>*「下をむく」という言<br/>葉の実際の動作と意味を<br/>確認することが必要であ<br/>る。</p>  |
|     | 25       | 下段       | 修正<br>「おふろば そーじ」<br>しゅん 「ぼくわ きれいな てんじが<br>かけるよーに れんしゅーを つづけます。」に修正  | 編集の具体的方針(2)-①<br>による。  |
| 1-2 | 43       |          | 修正<br>「いのちの はじまり」<br>(場面に番号を付し、実線枠で囲んだ。絵の説明は<br>「」で囲んだ。) <p>1. 「おなかの なかに あかちゃんが いて<br/>おかあさん、うれしそーだね。」に修正</p>   | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。  |
|     | 44       |          | 修正<br>「いきて いる じぶん」<br>いきて いるから できる ことを かいて<br>みましょー。<br>かえで 「ともだちと あそべるよ。」<br>ゆーき 「…」<br><br>できる ことが いっぱいだね!  | 編集の具体的方針(2)-①<br>による。  |

|     |         |       |   |   |  |
|-----|---------|-------|---|---|--|
| 1-2 | 50      | 11-12 | 削除  | 「たのしかった ハイキング」<br>「♪」は削除  | 編集の具体的方針(2)-①による。                          |
|     | 52      |       | 修正  | 「きまりを まもって」<br>じゅぎょーちゅーに おしゃべり しない。<br>ゆーか 「せんせいの おはなしが よく<br>きこえないな。」  | 編集の具体的方針(2)-①による。                          |
|     | 55      | 上段    |   | 「きいろい ベんち」<br>「かおを みあわせました。」<br>「かおを みあわせた とき」  | *「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。     |
|     | 62-63   |       | 修正  | 「なんて いったら よいのかな」<br>(絵を次のように文章化した。)<br>(れい) あさ、 おーだん ほどーで、 こーつー<br>しどーいんさんが はたを もって わたらせて<br>くれる とき<br>「おはよー ございます」<br><br>1. ろーかの まがりかどで<br>ともだちが はしって きて ぶつかりそーに<br>なった とき<br>2. ぶらんこを ともだちに ゆずって<br>あげる とき<br>3. ともだちが ジュースの あきかんを<br>みちばたに なげすてた とき | 編集の具体的方針(2)-④による。                          |
|     | 70-72   |       | 追加  | 「ねずみくんの きもち」<br>(場面の説明を( )で囲んで加えた。)【資料2】  | 編集の具体的方針(2)-④による。                          |
|     | 78-79   |       | 修正  | 「わたしの よい ところ」<br>(絵は削除し、以下のように修正した。)<br>「みぎの えの なかには、」→「『わたしの よい<br>ところ』の なかにわ、」  | 編集の具体的方針(2)-①による。                          |
|     | 88      |       | 修正  | 「もりの ゆーびんやさん」<br>(こりすの手紙を葉の形の枠線で囲んだ。)   | 編集の具体的方針(2)-①による。                          |
|     | 89-92   |       |   | 「こくばん とーばん」   | *「黒板当番」は盲児童にとって理解しにくい活動であるため、配慮が必要である、     |
|     | 94-95   |       | 修正  | 「みんなが えがおに」<br>(絵を削除して文章化した。)【資料3】  | 編集の具体的方針(2)-③による。                          |
|     | 112-113 |       |   | 「みあげて みよー よるの そら」   | *本教材を取り上げる際には、夜の星空を見ることができない盲児童への配慮が必要である。 |
| 118 |         | 修正    | 「みに つけよー れいぎ・ まなー」<br>(以下のように修正した。)<br>「たちどまって あいてを みる。」→<br>「たちどまって あいての ほーに からだを<br>むける。」<br>「しせんを したに むけながら」は削除<br>「からだを かたむける。」→「からだを まえに<br>かたむける。」<br>「からだを おこして あいてを みる。」→<br>「からだを おこして あいてに かおを<br>むける。」<br>「あたまだけ」→「あたまだけ さげる。」 | 編集の具体的方針(2)-②による。<br>*本教材は実際に体を動かしながら習得していきけるよう配慮が必要である。  |  |

|            |              |         |   |   |   |
|------------|--------------|---------|---|---|---|
| 1-2        |              |         |   | 「せなかが まるい」→「せなかが まるまっ<br>ている。」  |   |
|            | 117          |         | 修正  | 「みに つけよー れいぎ・ まなー」<br>(文章を次のように修正した。)<br>「あごを かるく ひき、 すこし さきを<br>みるよーに する。」→「かおを あげて、 あごを<br>かるく ひく。」<br>「じぶんの しょっきを はこぶ。」→「しょくじの<br>あとわ じぶんの しょっきを はこぶ。」                     | 編集の具体的方針(2)-②<br>による。<br>*本教材は実際に体を動<br>かしながら習得してい<br>けるよう配慮が必要であ<br>る。 |
|            | 118          |         | 修正  | 「① せいり せいとん して つかいやすく」<br>「どーぐばこ、 ロッカー、 げたばこなど、<br>じぶんの みのまわりを」に修正  | 編集の具体的方針(2)-②<br>による。   |
| 2-1        | 6            |         | 修正  | 「春に 見られる どうぶつと しょくぶつ」<br>「(写真は削除し、右上から下へ向かって名称を順に<br>記載し、マークはそれぞれ文字で表した。)<br>もんしろちょう(どうぶつ)<br>しろつめくさ(しょくぶつ)   | 編集の具体的方針(2)-①③<br>による。  |
|            | 12           |         | 修正  | 「れいぎ正しい あいさつ」<br>(次のように修正した。)<br>「1 あい手の 前で」→「1. あい手と 向かい合<br>って」<br>「2 あい手と 目を 合わせ、」→「2. あい手の<br>方に 顔を むけて、」<br>「4 もう 一ど、あい手と 目を 合わせます。」<br>→「4. もう 一ど、あい手の 方に 顔を むけま<br>す。」 | 編集の具体的方針(2)-②<br>による。   |
|            | 16<br>17     | 15<br>5 |   | 「よいのかな」<br>「顔を見合わせました。」<br>「顔を見合わせたとき」  | *「顔を見合わせまし<br>た。」という言葉の実際の<br>動作と意味を確認するこ<br>とが必要である。                   |
|            | 19<br>21     |         | 修正  | 「みんなの ものって？」<br>(「やってみよう」のメモ書きを例として書いてある<br>ことが分かるように記載した。)<br>(例) ボール<br>(例) 図書館の本   | 編集の具体的方針(2)-①④<br>による。  |
|            | 41<br>42     |         | 修正  | 「はりきりバンダとだらだらバンダ」<br>(「はりきりバンダ」「だらだらバンダ」を点図で表し<br>た。)   | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。   |
|            | 65           | 7       |   | 「きゅう食当番」<br>「おたがいの顔を見つめ合った。」  | *「顔を見つめ合う」とい<br>う言葉の実際の動作と意味<br>を確認することが必要であ<br>る。                      |
|            | 104          |         | 修正  | 「せい長かいだん」<br>(写真は削除し、吹き出し等は【資料4】のように修正<br>した。)  | 編集の具体的方針(2)-①③<br>による。  |
| 107<br>108 | 14<br>3<br>5 |         | 「しあわせの王子」<br>「右目のサファイアをとどけておくれ。」<br>「左目のサファイアをとどけておくれ。」<br>「目が見えなくなってしまいました。」 | *目のサファイアをとって<br>見えなくなったという記述<br>については、十分配慮して<br>指導する。   |   |
| 110        |              | 修正      | 「日本のたから 富士山」<br>(富士山を点図で表した)  | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。   |   |
| 114        |              | 修正      | 「大切な国旗と国歌」<br>(写真に写っている手前から、日本とイギリスの2か国<br>の国旗を点図で表した。)                       | 編集の具体的方針(2)-②③<br>による。  |   |

|     |       |          |   |  |  |
|-----|-------|----------|---|--|--|
| 2-2 | 120   | 3        | 修正  | <p>「身近な自ぜん体けん」<br/>(次のように修正した。)<br/>「色合い」→「手ざわり」</p> <p>(絵を次のように文章化した。)<br/>(「こどものもり」でできること)<br/>ぼうけんひろば—どろんこあそび、ロープあそび、ひみつきちづくりなど<br/>はたけ—やさいづくり<br/>キウイだな—キウイしゅうかくたいけん<br/>・・・</p> | 編集の具体的方針(2)-②④による。                           |
|     | 125   |          |   | 「雨上がりの空」   | *「にじ」については、見ることができない盲児童への配慮が必要である。           |
| 3-1 | 7     | 下段       | 修正  | <p>「おそろしいゲームいぞん」<br/>(文章を次のように修正した。)<br/>「じゅんびしたあとに、チェックできるように表を作るのはどうかな。」→「じゅんびしたあとにチェックできるように、メモするのはどうかな。」</p>   | 編集の具体的方針(2)-②による。                            |
|     | 16    | 4        | 修正  | <p>「相手を思いやって」<br/>(文章を次のように修正した。)<br/>「こまっている人を見かけたとき」→「こまっている人に気づいたとき」</p>  | 編集の具体的方針(2)-②による。                            |
|     | 20    | 3        | 修正<br>追加  | <p>「わたしたちの「わ」」<br/>(文章を次のように修正した。)<br/>「和」や「輪」→「和(なかよくする)」や「輪(丸くつながる)」</p>   | 編集の具体的方針(2)-①による。                            |
|     | 23    | 4<br>5   |   | <p>「和」→「和(なかよくする)」<br/>「輪」→「輪(丸くつながる)」</p>   |  |
|     | 35    | 下段       | 修正  | <p>「えがおいっぱい」<br/>(次のように修正した。)<br/>「ドッジボール大会」→「フロアバレーボール大会」</p>   | 編集の具体的方針(2)-②による。                            |
|     | 45-47 |          | 修正  | <p>「わたしの見たニッポン」<br/>(①～⑥を大きく囲み、写真を削除。各項の間に仕切り線を入れた。)</p>   | 編集の具体的方針(2)-①③による。                           |
|     | 69    | 15       |   | <p>「悪いのはわたしじゃない」<br/>「目を合わせる」</p>  | *「目を合わせる」という動作と言葉の意味について確認が必要である。            |
|     | 73    | 1        |   | 「ドッジボール大会」   | *「ドッジボール」の動作について想起できるよう確認が必要である。             |
| 78  | 5     |          | <p>「楽しめばすきになる」<br/>「漢字練習」</p>                                     | *「漢字練習」は適宜説明を加える等の配慮をする。   |  |
| 80  | 5     | 修正<br>追加 | <p>(文章を次のように修正した。)<br/>「住」という漢字→「住所」の「住」という漢字(「住」の字形を点図で挿入した)</p> | 編集の具体的方針(2)-①③による。   |  |
| 3-2 | 86    |          | 修正  | <p>「花さき山」<br/>(カッコ内は意味説明のため、読みを妨げないように奇数ページ欄外に記載する。)</p> <p>「ごっつおう」の特殊音「つお」は「つお」と表記する。</p>   | <p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>3学年では未学習のため。</p> |

|     |         |    |          |   |  |
|-----|---------|----|----------|---|--|
| 3-2 | 92      | 10 |          | 「光祐くんのアサガオ」<br>「白血病」  | *内容の取扱いについて、<br>児童の状況に応じ、適宜配<br>慮する。   |
|     | 127     | 7  | 削除<br>修正 | 「昔からの味をつたえる野さい」<br>(大阪のでんとう野さいの部分を実線枠で囲み、写真<br>の説明については野菜の名前のあとに棒線をつけて記<br>載した。)                  | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。  |
| 4-1 | 12-16   |    |          | 「ゆめは世界一のプロ野球マスコット」  | *マスコットについて、<br>児童の経験から具体的に<br>想起できないものについ<br>ては、説明が必要。<br>編集の具体的方針(2)-①②<br>による。 |
|     | 17      | 下段 | 修正       | 学びの手引き<br>(文章を次のように修正した。)<br>はな「わたしは、アニメが好きだから声優になりたい<br>な。」<br>けんと「ぼくは、水泳が得意だから、水泳選手になり<br>たいな。」 |  |
|     | 30      | 上段 | 修正       | 「分けへだてなく」<br>(選択肢を、次のように修正した。)<br>(オ) 友達のをかくす。<br>(カ) 友達のを取り上げる。                                  | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。  |
|     | 32-34   |    |          | 「プロレスごっこ」   | *児童の経験から具体的<br>に想起できないものにつ<br>いては、説明が必要。   |
|     | 44      |    |          | 「真心をもって」<br>(表を児童自身が実際にノートに筆記できる形式に修正<br>した。)【資料5】  | 編集の具体的方針(2)-⑤<br>による。  |
| 4-2 | 77-78   |    | 修正       | 「ブラッドレーの請求書」<br>(「お母さんへのせい求書」「ブラッドレーへのせい求<br>書」を枠で囲んで表記した。)                                       | 編集の具体的方針(2)-①<br>による。  |
|     | 89      | 1  | 修正       | 「一步一步の積み重ね」<br>「わたしたちが、よく目にしている」→「わたしたち<br>のまわりにある」<br>(伊能忠敬の日本地図を点図で表した。)                        | 編集の具体的方針(2)-②、<br>③による。  |
|     | 95      | 8  | 修正       | 「タイガとココア」<br>(次のように修正した。)<br>「タイガ(大河)」→「タイガ(大きな河)」  | 編集の具体的方針(2)-①に<br>よる。  |
|     | 110     | 1  | 削除<br>修正 | 「日本人が世界に広めたすごいもの」<br>(棒線を削除し、次のように修正した。)<br>1. あなたは、どの発明やくふうがすごいと思います<br>か。選んだものとその理由も書きましょう。     | 編集の具体的方針(2)-①<br>による。  |
|     | 124-127 |    |          | 「命」   | *「神経芽細胞腫」という<br>病名が出てくるため、取り<br>扱いに十分な配慮が必要。                                     |
|     | 141-143 |    |          | 「動物たちの命を守る」   | *写真から得られる情報に<br>ついて、児童の経験から具<br>体的に想起できないもの<br>については、説明が必要。                      |
| 5-1 | 13      | 18 |          | 「たからもの」   | 編集の具体的方針(2)-③<br>による。<br>*漢字練習は適宜説明を<br>加える等の配慮が必要。                              |
|     | 44-48   |    | 修正       | 「新幹線開発物語」<br>(新幹線の絵を点図で表した。)  | 編集の具体的方針(2)-③に<br>よる。  |
|     | 48      |    | 修正       | (写真を削除し写真の説明を追加した。)   |  |



|         |         |    |  |  |  |
|---------|---------|----|--|--|--|
| 5-1     |         |    |  | (写真の説明) 東海道新幹線の開業式(1964年10月1日)   |  |
|         | 54      | 1  | 修正追加   | 「自動車への限らない夢」<br>(「食器」との混同を避けるために説明を加えた。)<br>「しょつき」→「しょつき(布を織る機械)」                                    | 編集の具体的方針(2)-①による。  |
| 5-2     | 84-87   | 写真 | 修正   | 「モントゴメリーのバスーキング牧師とバスボイコット運動」<br>(キング牧師の写真は削除し、説明を文章末に記載した。)  | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 110     | 写真 | 修正   | 「トキのまう空」<br>(トキの写真については写真の説明を脚注にした。)<br>(写真の説明) 日本初の人工ふ化で生まれた「優優」                                    | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 120-124 | 写真 | 修正   | 「ブータンに日本の農業を」<br>(ブータンの地図を点図で表した。)   | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 130-133 | 絵  | 修正   | 「花に思いを込めてー星野富弘ー」<br>(絵を削除し、題を追加して修正した。)【資料6】   | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 133     | 下段 | 修正   | (次のように修正した。)<br>「星野さんの絵や詩」→「星野さんの詩」  | 編集の具体的方針(2)-②による。  |
|         | 134     | 2  | 修正   | 「世界文化遺産、姫路城を守る」<br>「白鷺城」→「しらすぎじょう」「はくろじょう」   | 編集の具体的方針(2)-①による。  |
|         | 136     | 20 | 修正   | 「愛城」→「あいじょう(城を愛する)」  |  |
| 148-151 | 写真      | 修正 | 「一人はみんなのために・・・」<br>(地図は削除し、ラグビーワールドカップ2019開催都市を都道府県番号順に記載した。)【資料7】                   | 編集の具体的方針(2)-③による。  |  |
| 6-1     | 13      | 写真 | 修正追加   | 「志を立てる」<br>(二またソケットの写真については、点図とキャプションを本文末に挿入した。)   | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 14~17   | 下2 | 修正   | 「父の言葉」<br>「町で困っている様子の人を見かけたとき」→「町で困っている様子の人に出会ったとき」  | 編集の具体的方針(2)-②による。  |
|         | 17      | 絵  | 修正追加   | (絵を削除し、絵の説明文を追加した。)<br>(例) 足の不自由なおじいさんが横断歩道で信号待ちをしています。おじいさんは二つの荷物を持っています。あなたはおじいさんの隣にいます。歩行者信号は赤です。 | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 23-27   |    |  | 「友だちだからこそ」   | *「しぶい表情(P24 5行目)」については、挿絵を踏まえ、動作と意味を結びつけるなどの理解のための配慮が必要。 |
|         | 36      | 11 | 修正   | 「食事中的メール」<br>(メール中のマークは(怒りマーク)と表記した。)  | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
|         | 42      | 3  | 修正   | 「安全についてみんなで考えてやってみよう」<br>(次のように修正した。)<br>「小さな子たちを見かけたとき」→「小さな子たちが周りにいたら」                             | 編集の具体的方針(2)-②による。  |
|         | 49      | 絵  | 追加   | 「応えん団の旗」<br>(49ページと51ページ掲載の旗の絵の中の文字については、絵の説明として次のように脚注にした。)   | 編集の具体的方針(2)-③による。  |
| 51      |         |    | □□(絵の説明) □□写真に写っている旗には、「力を合わせて優勝だ!!」と書かれている。<br>□□(絵の説明) □□旗には、「優勝へ向けてがんばろう」と書かれている。 |  |  |



【資料1】「かぼちゃのつる」(1年 P14～P16)

1

かぼちゃばたけの かぼちゃわ、 つるを はたけの そとえ ぐんぐん のびて  
いきました。

かぼちゃ 「ぼく、 こっちえ のびよー。」

2

そこえ みつばちが とんで きました。

みつばち 「かぼちゃさん、 そっちえ のびてわ だめですよ。」

かぼちゃ 「そんな こと かまうものか。」

3

かぼちゃの つるわ みちを こえて、 すいかばたけの なかまで のびて いきました。

すいか 「かぼちゃさん、 ここわ わたしの はたけだから、 はいって こないで  
ください。」

かぼちゃ 「なんだと、 ちょっとくらい はいったって いいじゃ ないか。」

4

そこえ こいぬが とおりかかりました。

こいぬ 「かぼちゃさん、 ここわ、 みんなが とおる みちですよ。 ここに のびてわ、  
こまりますよ。」

かぼちゃ 「またいで とおれば いいじゃ ないか。」

5

こいぬわ おこって、 かぼちゃの つるを ふみつけました。

かぼちゃは、 つるを こいぬに ふまれても へいきな かおを して います。

6

ぶるるるるる……。

くるまが みちを とおって いきました。

かぼちゃの つるわ くるまに ひかれて、 ちぎれて しまいました。

かぼちゃ 「いたいよー、 いたいよー。」

かぼちゃわ、 ぼろぼろ ぼろぼろ なみだを ながして なきました。

【資料2】「ねずみくんの きもち」(1年 P70～P71)

「ねみちゃん、 はやく こないかなあ。」

ねずみくんわ、 こーえんで ねみちゃんと まちあわせです。

(ねずみくんわ、 ひとりで ぶらんこに のりながら ねみちゃんを まって います。)

「どけ どけ！ ぼくが のるんだ！」

そこに、 いじわる ねこくんが やって きました。

「また、 いじわる されちゃった。 ぼくって、 だめだなあ。」

(ねずみくんわ ぶらんこを ねこくんに とられて、 なきながら あるいて いきます。)

「ぼくわ、 ちいさくて きが よわくて そのうえ、 なにを しても  
しっぱいばかり。 だから、 ぼくわ いじめられてばかり いるんだ。」

(ねずみくんわ なきながら かんがえます。)

『ねずみくん、 また なにを めそめそ して いるんだい。』

(そこに、ふくろーさんが とんで きました。)

【資料3】「みんなが えがおに」(1年 P94~P95)

せんせい が こくばんに 50\_\_おんを まぎょーまで かいて おっしゃいました。

「きょーわ かたかなの べんきょーです。 いちろー さん、 やぎょーを かいて ください。」

いちろー さんわ すこし こまった かおを して います。

「や」も 「ゆ」も 「よ」も まちがって しまいました。

すると、 ともだちが、

「かけないの。」

「だめだなあ。」

と いいました。

せんせいわ、

「みなさん、 ことばの つかいかたに きを つけましょー。 しらない うちに ともだちを きずつける ことも ありますよ。」

と おっしゃいました。

せんせい 「ともだちに いわれて、 うれしく なる ことばと かなしく なる ことばが ありますね。」

(うれしく なる ことば)

がんばろー

すてき

うまいね

だいすき

(かなしく なる ことば)

へた

へんなの

きもい

うざい

せんせい 「みんなが えがおに なるにわ、 どんな ことばを つかえば よいでしょーか。」

かけないの。 → ☺☺☺☺☺

だめだなあ。 → ☹☹☹☹☹

【資料4】「せい長かいだん」(2年 P104)

生きているって素晴らしいですね。今まで生きてきて楽しかったこと、できるようになったことは、どんなことがありますか。

しんご「あかちゃんのころは、ちいさかったよ。」

きみ「楽しかったことは……。」

そうすけ「できるようになったことは……。」

みはる「すきなことは……。」

みなさんのせい長をささえてくれたのは、どんな人たちでしょう。

【資料5】「真心をもって」（4年 P44）

1. 自分のあいさつを調べてみましょう。

いつ どこで だれと あいさつの言葉 点数（わけ）の順に書きましょう。



朝 家で お母さん おはよう。 30点（先にいわれた。）

朝 家で お母さん ってきます。 80点（元気な声でいえた。）

朝 通学路で となりのおじさん おはようございます。 40点（声が小さかった。）

...



2. 自分のあいさつを振り返って、どう思いましたか。

【資料6】 「花に思いを込めて—星野富弘—」（5年 P130～133）

（星野さんの詩）



同じ重さ（つばき）

与えられることと  
失うことは同じ重さらしい

散る花があつて  
咲く花がある



はなしょうぶ

黒い土に根を張り  
どぶ水を吸って  
なぜきれいに咲けるのだらう

私は  
大ぜいの人  
愛の中において  
なぜみにくいことばかり  
考えるのだらう



なずな

神様がたった一度だけ  
この腕を動かして下さるとしたら  
母の肩をたたかせてもらおう

風に揺れるぺんぺん草の  
実を見ていたら  
そんな日が本当に  
来るような気がした



野ばら  
この道は  
茨の道  
しかし茨にも  
ほのかにかおる  
花が咲く

あの花が好きだから  
この道をゆこう



なのはな  
私の首のように  
茎が簡単に折れてしまった

しかし菜の花は  
そこから芽を出し  
花を咲かせた

私もこの花と  
同じ水を飲んでいる  
同じ光を受けている  
強い茎になろう



【資料7】 「一人はみんなのために」 (5年 P151)



ラグビーワールドカップ 2019 開催都市

1. 札幌ドーム(北海道札幌市)
2. 釜石鶴住居復興スタジアム(岩手県釜石市)
3. 熊谷ラグビー場(埼玉県熊谷市)
4. 東京スタジアム(東京都調布市)
5. 横浜国際総合競技場(神奈川県横浜市)
6. 小笠山総合運動公園スタジアム(静岡県袋井市)
7. 豊田スタジアム(愛知県豊田市)
8. 東大阪市花園ラグビー場(大阪府東大阪市)
9. 御崎公園球技場(兵庫県神戸市)
10. 東平尾公園博多の森球技場(福岡県福岡市)
11. 熊本県民総合運動公園陸上競技場(熊本県熊本市)
12. 大分スポーツ公園総合競技場(大分県大分市)

